

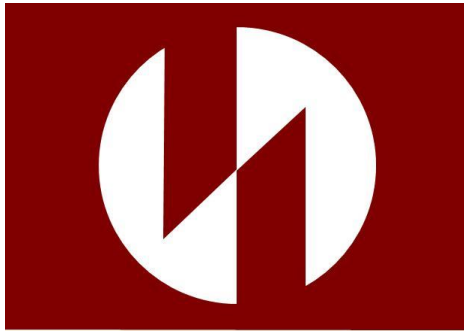


概要版
緑につつまれ
友愛に満ちた市民のまち 稲城

第四次稲城市 長期総合計画

ともにつくろう 笑顔あふれる 元気なまち





市章



市のC | 活動マーク



市の花 「梨」



市の木 「イチョウ」

稲城市民憲章 (昭和56年11月1日制定)

縄文の昔から緑豊かな多摩の横山と多摩川の清流にはぐくまれた私たちのまち稲城。

私たちは、このまちに住み、このまちを愛し、いつまでも平和で友愛に満ちた心のふるさと、稲城市をつくるために、市民憲章を定めました。

市民ひとりひとりがこの憲章を心の道しるべとして、より豊かなまちとなるよう協力しましょう。

- 1 太陽と緑をたいせつにし、土の香りのあるまちをつくりましょう。
- 1 市民としての自覚をもち、助け合って住みよいまちをつくりましょう。
- 1 年よりやこどもをいたわり、若い力を育てるまちをつくりましょう。
- 1 心身ともに健やかに、笑顔で働けるまちをつくりましょう。
- 1 伝統を尊び、文化を高め、未来に展望がもてるまちをつくりましょう。

稲城市平和都市宣言 (平成3年3月7日)

かけがえのない、この美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人々の心は共通のものであります。

現行憲法に貫かれた平和の精神をもとに、非核三原則を遵守し、世界の人々と手を携えて、人類永遠の平和を築くことが私たちの責務です。

市民憲章の心を基本理念として、私たちは真の平和と幸せを望み、このまちに住み、このまちを愛し、いつまでも平和で友愛に満ちた心のふるさと、稲城をつくるために努力しています。

ここに稲城市制20周年の年を迎え、平和への誓いを新たに決意し、稲城市が平和都市であることを宣言します。

『ともにつくろう 笑顔あふれる 元気なまち』をめざして



本市は、多摩丘陵の緑や多摩川の清流に代表される豊かな自然環境に恵まれ、長い歴史のなかで伝統や文化を育みつつ、首都圏の近郊の住宅都市として発展してきました。

多摩ニュータウンの開発や土地区画整理事業などの都市基盤の整備においては、水と緑のうるおい空間をまちづくりに活かすことで、良好な生活空間を創出し、住みやすさを誇るまちとして評価されております。

また、免震構造を導入した市立病院の建設やPFIを導入した中央図書館の開設、介護支援ボランティアの制度化など、本市の先進的な施策が高く評価され、平成19年には10年に一度で多摩26市のなかで一市のみを与えられた総務大臣表彰を受賞しました。

日本全体が人口減少社会を迎えるなか、本市では今後10年間に於いて人口は増加し、また高齢化は比較的緩やかに進むことが見込まれます。地方分権が本格的に推進されようとしておりますが、自らの地域の実情に見合った福祉や教育・生涯学習、コミュニティ、環境・産業、都市基盤整備、市民参加などの各分野の施策を全体のバランスをとりながら前進させ、市民が故郷として愛着や誇りをもてる稲城のまちづくりを進めたいと考えております。

第四次稲城市長期総合計画では、「人権の尊重とノーマライゼーション」「人と人とのつながり」「市民参加と協働」「地域資源の活用」の4つを基本的視点におきました。そして、これまでの総合計画に掲げられた将来都市像である「緑に囲まれ 友愛に満ちた市民のまち 稲城」を継承しつつ、これからの10年のまちづくりの方向性として「ともにつくろう 笑顔あふれる 元気なまち」と決めました。新しいまちと旧来のまち、歴史と伝統、都市的なものと農村的なもの、あるいは子どもから高齢者までのあらゆる世代が融合し、まちづくりを進める過程において、心の豊かさや活力に満ちた地域社会の実現を目指します。

本計画の策定に際しては、ご協力いただきました長期総合計画審議会委員や市民会議参加者のみなさまをはじめ、ご意見やご提言をいただきました稲城市議会並びに多くの市民のみなさまに心より御礼を申し上げます。

平成 23 年 3 月

稲城市長

石川良一

Let's Create Together a Vigorous Town Full of Smiles

In addition to taking over the previously set-up future image, "Inagi – a friendly citizens' town surrounded by greenery," the 4th Long-term Comprehensive Plan of Inagi City introduces a slogan representing the direction of our city-development for the coming 10 years: "Let's create together a vigorous town full of smiles." By maintaining a good balance of programs for different fields, I am determined to develop a city that our citizens will have attachment and a sense of pride as their hometown. I will pursue realization of a community where the people fully feel spiritual richness and vigor, with new and old, history and tradition, urban and rural, and children to elders, all fused together.

I am extremely grateful for the many citizens including the members of the advisory committee who have cooperated with us in formulating this plan.

第四次稲城市長期総合計画のあらまし

長期総合計画は、将来のまちの姿やまちづくりの基本的な方向性を示し、それを実現するための方法を定めた長期的な計画をいいます。

● 計画策定の趣旨

本市では、昭和50年に「稲城市長期総合計画」を策定し、続いて平成3年に「第二次稲城市長期総合計画」を、21世紀に入った平成13年には「第三次稲城市長期総合計画」を策定しました。この第三次稲城市長期総合計画は、平成22年度に終了するため、新たな総合計画の策定が必要になっています。時代の潮流や本市を取り巻く社会経済情勢を十分に踏まえつつ、今後のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、平成23年度からの新たな総合計画を策定しました。

● 計画策定に向けた取組み

新しい総合計画は、市民にわかりやすく実感の持てる計画とするために、まちづくりの目標を明らかにするとともに、財政状況に即した実効性のある計画にすることが必要です。そのために以下の3点について取り組んでいます。

① 成果がわかる目標の設定

新しい総合計画では、今後のまちづくりに関する目標を市民にできるだけわかりやすく示すという観点から、行政が取り組むべき施策に対する目標数値などを明示しています。

② 財政フレームとの調整

厳しい財政状況のなかで、計画を実行へと展開していくためには、財政フレームの裏づけが必要です。現実的な計画とするため、総合計画と財政フレームとの十分な調整を図っています。

③ 市民参加の視点

さまざまな方法により市民の意見を聴取するとともに、新たな取組みとして市民会議の設置をするなど、市民参加の機会を充実しています。

Summary of the 4th Long-term Comprehensive Plan of Inagi City

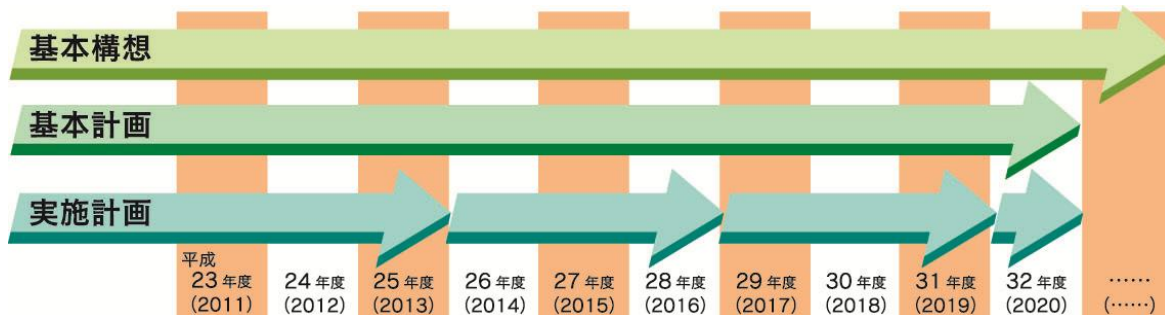
A long-term comprehensive plan is a scheme for a long period of time, which sets up basic goals by envisaging (making a concept of) the future shape of the town including population, and determines measures to achieve the goals. We developed a new long-term comprehensive plan in order to carry out the future city-development activities comprehensively and systematically taking the trend of the times and socio-economic situation surrounding the city into consideration.

The 4th Long-term Comprehensive Plan of Inagi City is in a 3-tear structure including Basic Concept, Basic Plan, and Implementation Plan. This plan covers the period from fiscal 2011 to 2020.

Population of the city in fiscal 2020 is estimated to be 92,000. We estimate the revenue and expenditure during the period of the plan at 295.2 billion yen to financially support the plan so that specific programs included in the plan can be implemented effectively.

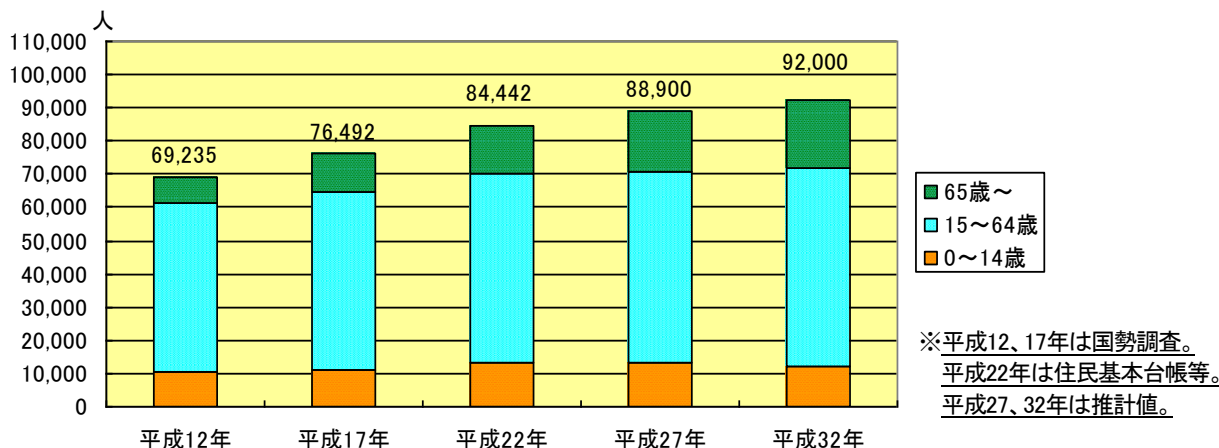
● 計画の構成と期間

- ① **基本構想** 将来都市像とまちづくりの基本目標を掲げ、それを実現するための基本的な方向性を定めます。期間は、平成23年度から2020年代初頭までとします。
- ② **基本計画** 基本構想に基づき展開する施策を体系的に定めるとともに、施策の目標を定めます。期間は、平成23年度から平成32年度までの10カ年とします。なお、時代の変化に柔軟に対応できるように、中間時に点検をします。
- ③ **実施計画** 施策の体系に即し、施策の目標を達成するための主要な事業の計画的な実施について定めます。期間は、3年毎の3カ年計画を原則とします。



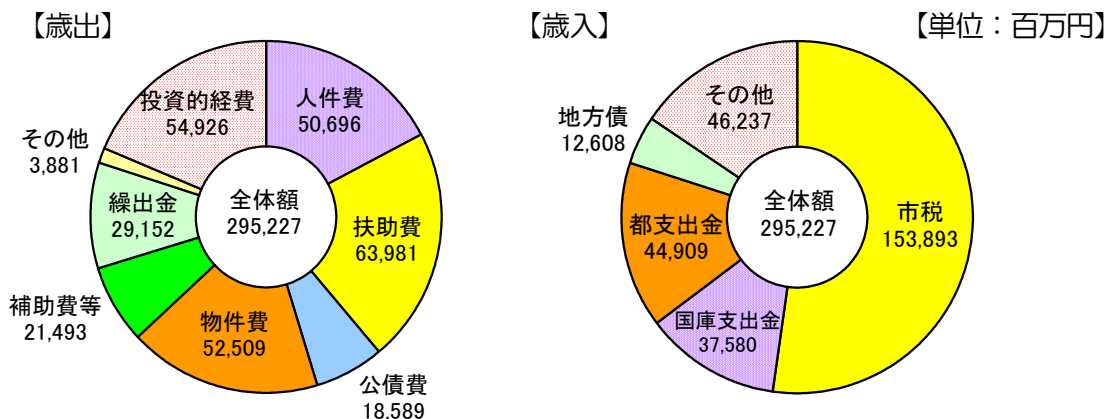
● 想定人口

平成32年の人口を92,000人と想定します。



● 財政推計

本計画に記載している諸施策を具体化し実効性のあるものとするため、計画期間内（10年間）における財政収支を推計し、財源の面からの裏づけを行っています。



将来の都市のすがた

本市は、明治22年（1889年）に稲城村として誕生して以来、百年を超える歴史を積み重ねています。この歴史のなかで稲城のまちなみは、農村地帯から徐々に多摩ニュータウンの開発に代表される都市近郊の住宅都市へと変化を遂げ、近年では都市基盤の整備により、交通の利便性や良好な環境を基盤とした首都圏の近郊都市として発展しています。

第四次稲城市長期総合計画は、このような歴史的経過を踏まえつつ、新しい時代を展望し、地域社会の持続的な発展とより豊かな市民生活の実現をめざし、策定します。

● 将来都市像

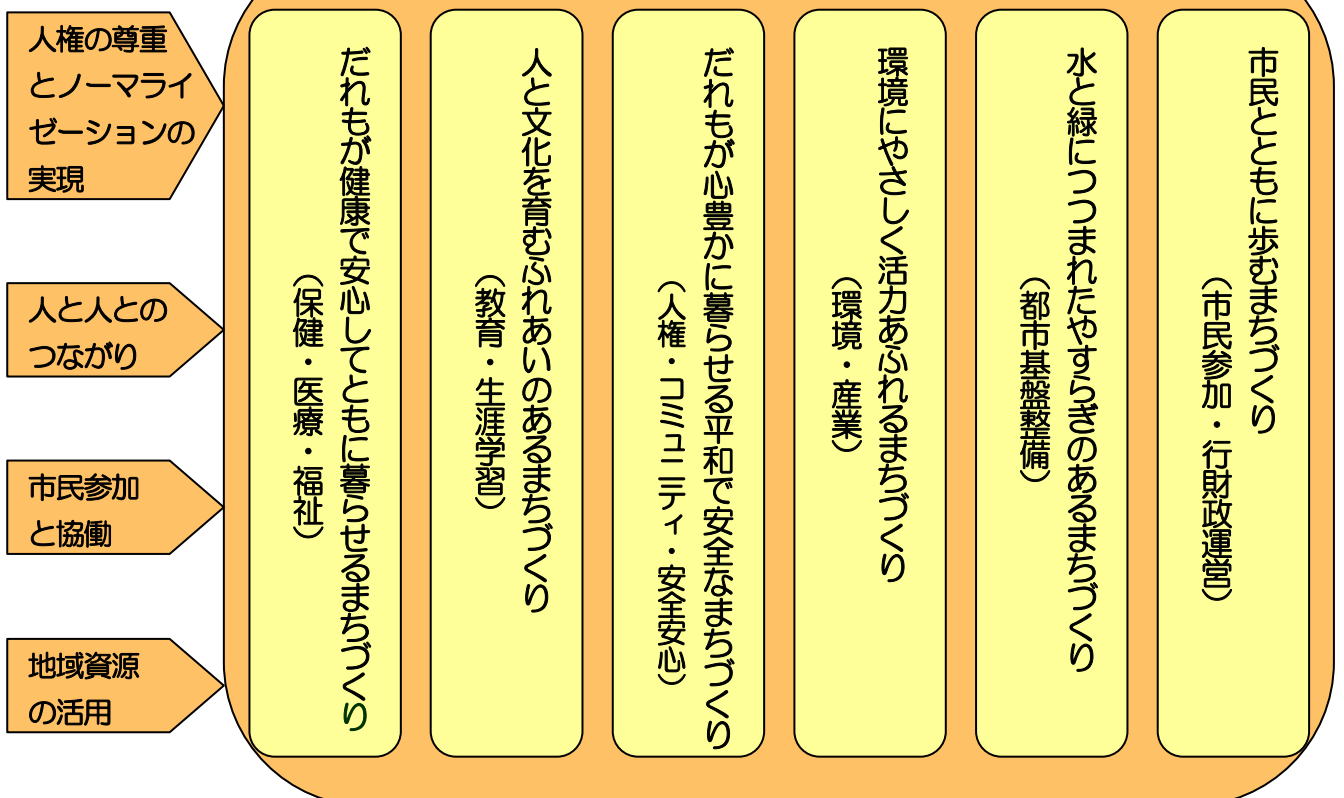
先人が築き上げてきた有形無形の財産を継承しつつ、暮らしと自然が調和した都市空間のなかで、そこに暮らす人々が多様な関係を築き相互に助けあいながら、自主性・自立性の高いまちを将来のあるべき姿（将来都市像）として、次のように定めます。

緑につつまれ 友愛に満ちた市民のまち 稲城

～ともにつくろう 笑顔あふれる 元気なまち～

● 将来都市像の実現に向けたまちづくりの基本目標

〔基本的視点〕



● 基本的視点

まちづくりにあたっては、基本的な視点として次の4点を考慮し、将来都市像、まちづくりの基本目標、施策の大綱からつながる体系より、さまざまな施策を展開していきます。

① 人権の尊重とノーマライゼーションの実現

一人ひとりが自分らしく生き、そして、他の人たちとともにみんなが幸せに生きていくためには、お互いの個性を尊重し、認めあうことが必要です。

ユニバーサルデザインへの配慮やノーマライゼーションの理念の実現などにより、だれもが安心して暮らせるよう、お互いを思いやり、人権を尊重する社会の構築に努めていきます。

② 人と人とのつながり

人々の生活様式が多様化し個人志向も強まり、他人を思いやる気持ちの余裕や他人への興味がなくなるなど、近所や地域とのかかわりが疎遠になる人が増えてきています。

人や社会とのつながりの大切さを再認識し、地域のなかでの助けあいやスポーツ・サークル・ボランティアなどの地域活動を通じ、社会的なつながりをより広く深く持つことができるコミュニティの構築をめざします。

③ 市民参加と協働

自発的または主体的にまちづくりを進める住民による自治を背景に、市民のまちづくりへの参加意識も高まっていることから、地域の構成員としての主体性を尊重し、それぞれの特徴を活かした市民参加や自助・共助・公助の連携と適切なバランスを基本に、さまざまな組みあわせの協働により、地域社会の自主的・自立的な発展をめざします。

④ 地域資源の活用

本市は都心に近いところでありながら、豊かな緑や地域社会のつながりなどが残されており、住みよいまちとして評価されています。地域による自主的な地域資源の掘り起こしや今あるものをさらに磨くことも含めた地域のもつ潜在的能力の活用を図ることにより、さらに住みよいまちをめざします。また、次の世代へと伝えていくために、教育・学習の場を通して、人材の育成と伝統・文化の継承を図りながら、地域資源の活用による稲城らしさの創造に努めます。

Future design of the City

Our future design of the city is depicted in the following slogan: “Inagi – a friendly citizens’ town surrounded by greenery --- Let’s create together a vigorous town full of smiles.” The basic goal for each of the 6 fields for city-development aiming at materializing such design include:

- “City where everyone live together without worry about health and security” in the field of health, medicine, and welfare
- “City of interaction that nurtures culture and bonds among people” in the field of education and lifelong learning
- “Peaceful and safe city where everyone live happily” in the field of human rights, community, and safety/security
- “Environmentally-friendly and vigorous city” in the field of environment and industry
- “Relaxing city surrounded by water and greenery” in the field of urban infrastructure development
- “City that advances together with its citizens” in the field of citizen participation and administrative/fiscal operation

In our efforts to create such a city, basic perspectives have been considered including respect of human rights and normalization, ties among people, citizen participation and working together, and utilization of local resources.

土地利用の方向性

1 地域の特徴を活かした調和のとれたまちづくり

市域は、おおむね多摩川や三沢川沿いの平坦地・三沢川左岸丘陵地・三沢川右岸丘陵地・平尾地区の4つの地域に大別できます。これらの地域は、それぞれの地形やまちの発展過程が異なるため、それぞれの特徴を活かしながら、全体としてまとまりのある調和のとれたまちづくりを進めます。

また、これらの地域間における交流を深めるとともに、子どもから高齢者まで住み慣れた地域でいきいきと暮らせる安全で快適なまちづくりを進めます。

2 都市軸と中心地区の形成および生活拠点の育成

- 都市軸**：多摩川から京王相模原線稲城駅を経て、若葉台駅に至る鶴川街道に沿う南北軸を都市軸と位置づけます。
- 中心地区**：長期的なまちづくりの視点から、稲城の顔として市民の活動・交流の中心となり、愛着と誇りがもてるような市街地づくりが不可欠です。このため、京王相模原線稲城駅を核とする市街地とJR南武線稲城長沼駅付近の市街地は、両駅を核とする中心地区として位置づけ、都市計画道路を軸に各種都市機能の形成を図ります。
- 若葉台センター地区**：京王相模原線若葉台駅周辺は、隣接する川崎市麻生区黒川地区をも利用圏とする、広域的な若葉台センター地区として、住宅・商業・業務などの複合した都市機能の整備・形成を進めます。
- 生活拠点**：JR南武線矢野口駅・南多摩駅周辺、京王相模原線京王よみうりランド駅周辺、向陽台センター地区、平尾センター地区、坂浜新駅（仮称）周辺は、各生活圏域における生活拠点として位置づけ、生活関連機能の形成に努めます。

3 水と緑の体系を活かした魅力的なまちづくり

市域には、豊富な水と緑が残されています。市民生活にやすらぎと潤いを与えてくれる貴重な資源である水と緑を後世に伝えるため、まちづくりのなかで活かしていきます。

- 水を活かしたまちづくり**：多摩川、三沢川などを活かし、水と親しめるまちづくりを進めます。
- 緑に囲まれたまちづくり**：市の周辺部は、緑地のつながりによる「緑の環」が形成され、市域内には公園、緑地、梨畑などがあります。これらの緑を活かしたまちづくりを進めます。
- 魅力的なまちなみの形成**：四季おりおりの変化や歴史・文化を肌で感じ、地域の特徴を活かし景観に配慮した魅力あるまちなみを形成します。

Future Strategy for Land Utilization

1. Taking advantage of the characteristics of the 4 regions: flat area (existing urban district), hilly area on the left bank of the Misawa River (such as Tama New Town district), hilly area on the right bank of the Misawa River, and Hirao district, a city that has a good harmony from the overall perspective will be sought for.
2. While assuming the area from Tama River to Wakaba-dai along Tsurukawa Avenue as the urban axis, the central district that represents the city as well as hubs for living in each inhabited district will be enhanced.
3. Utilizing abundant water and greenery remaining in the city and paying attention to the landscape, we will proceed further city-development to create an attractive Inagi city.

三沢川左岸丘陵地（多摩ニュータウン区域等）

三沢川の左岸側の丘陵地は、多摩ニュータウン事業を中心に開発が進められてきました。住宅・商業・業務などの多機能をあわせもつ複合的で利便性の高いまちの成熟を図ります。また、多摩ニュータウンの隣接地域については、ニュータウン地域と整合のとれた一体的なまちをめざします。

平坦地（既成市街地）

多摩川・三沢川沿いの平坦地では、地域性に富んだ歴史や文化を大切にして、水や緑を活かした生活空間の創出と生活環境の向上をめざしたまちづくりを進めます。また、駅を中心とした生活利便性の向上を図り、安全で安心な暮らしを支える生活拠点づくりを進めます。



平尾地区

歴史・文化資源が多くみられる緑地景観の残る地域と、市内で最も早く市街地整備に取り組んだ地域に分けられます。自然的環境や歴史・文化資源を活かし、既存市街地環境の改善・更新を図り、生活環境の向上と他の地域との連続性が図れるよう、快適なまちづくりを進めます。

三沢川右岸丘陵地

三沢川の右岸の丘陵地は、里山の風情のある民有の緑が多く残されていますが、こうした緑も適切な維持管理が行われず荒廃した雑木林、低利用農地、乱開発によるスプロール化などの問題を抱えています。こうした問題を解決し、持続性のある良好な緑空間の確保・再生・保全を図りながら安全な市街地を形成するため、計画的なまちづくりを進めます。

1 健康の保持・増進と医療の充実

だれもが安心して健康に暮らすことができるように、健康的な生活習慣づくりに取り組むとともに、市立病院をはじめ地域の医療機関などと連携を図りながら、市民の健康の保持・増進と医療体制が充実したまちづくりを推進します。

①健康づくりの推進

②医療体制の充実

〔主な事務事業〕

- 乳幼児等健康診査事業
- 健康づくり推進事業
- （仮称）健康プラザ及び市立病院健診・外来棟建設事業
- 感染症予防事業
- 国民健康保険特定健診・特定保健指導の実施
- 休日急病診療事業
- 地域医療連携システムの構築事業



2 社会福祉の充実

ノーマライゼーションの理念を基本に、だれもお互いを尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざすとともに、生活の安定と質の向上を図り、自立した生活を営めるよう社会福祉の充実を図ります。

①地域福祉の推進

②高齢者福祉の充実

③障害者（児）福祉の充実

④子育て支援の充実

⑤ひとり親家庭への支援

⑥低所得者などへの支援

〔主な事務事業〕

- 稲城市保健福祉総合計画の策定
- 稲城市社会福祉協議会運営費補助事業
- 成年後見制度等利用者支援事業・権利擁護センター事業
- 老人福祉施設整備事業
- みどりクラブ等関係事業
- シルバー人材センター運営費補助事業
- 在宅高齢者支援事業
- 介護予防・地域支え合い事業
- 自立支援給付等事業及び地域生活支援事業
- 就労支援センター事業
- 保育所等の施設整備事業
- 児童館・学童クラブ施設整備事業
- 子育て支援事業
- 保育所等運営委託事業
- 認証保育所運営等・家庭福祉員運営事業
- 延長保育事業
- 母子父子関係事業

3 社会保険制度の推進

だれもが必要とする時に必要とする医療サービスや介護サービスなどの社会的保障を受けることができる基盤整備を行うとともに、受益と負担の公平性を確保しながら、健全で安定した社会保険制度の運営を図っていきます。

①医療保険制度や年金制度の推進

②介護保険制度の推進

〔主な事務事業〕

- 稲城市介護保険事業計画の策定
- 地域支援事業

指 標	現状値	目標値
特定健診の受診率	46.5%	65.0%
特定保健指導の実施率	28.7%	45.0%
地域福祉活動団体数	16団体	20団体
小規模多機能型居宅介護施設数	0カ所	4カ所
認知症高齢者グループホーム数	1カ所	4カ所
市内障害者グループホーム・ケアホームの定員	21人	51人
知的障害者と精神障害者の一般企業等への就労者数	39人	70人
公立保育園民営化の推進	1園	2園
子育てに関する相談や情報提供の充実	1,741件	2,000件
ひとり親家庭ホームヘルプサービス利用登録世帯	9世帯	17世帯
介護支援ボランティアの登録者数	415人	600人

1 生きぬく力の育成

次代を担う子どもたちが、生きぬく力を身につけ、人間性豊かな市民として成長することを支援するため、学校教育の充実を図るとともに、青少年の健全育成を進めます。そのため、学校・家庭・地域などがそれぞれの特性を活かして市民総がかりで「子どもを育てる教育」をめざします。

- ① 幼児期の教育の振興
- ② 義務教育の充実
- ③ 青少年の健全育成

〔主な事務事業〕

- 私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金、私立幼稚園就園奨励費補助金等
- (仮称)稲城市教育審議会
- 小中学校大規模改修等事業
(一小、二小、七小、一中、三中)
- (仮称)南山小学校建設事業
- 小中学校施設整備事業
- 学校図書館の充実
- 特別支援教育・教育相談事業の充実
- 学校給食共同調理場整備事業
- 稲城ふれあいの森事業

2 生涯学習の推進

市民、地域、行政が一体となり、連携・協働の図れる生涯学習を推進します。市民一人ひとりの自主的・主体的な生涯学習を尊重するとともに、地域・ボランティア・NPO等の市民団体や小中学校・近隣の大学・民間企業などとの連携を進め、生涯学習の成果を活かせるまちづくりを推進します。また、文化・芸術・スポーツ活動を持続的に推進するための担い手の育成や、施設の管理運営における民間活力の導入の検討など、より充実した環境の整備と市民サービスの向上に努めます。

- ① 生涯にわたる学習・文化・芸術活動などの振興
- ② 社会教育の充実
- ③ 文化財の保存と活用
- ④ スポーツ・レクリエーション活動の振興

〔主な事務事業〕

- 第三次稲城市生涯学習推進計画の策定
- いなぎICカレッジの充実
- 大規模改修事業（第二文化センター等）
- 稲城市子ども読書活動推進計画の推進
- 各分野の文化財調査の実施、文化財の把握
- 郷土資料室の整備
- 中央公園体育施設の大規模改修事業
- スポーツ施設予約システムの導入
- 稲城市生涯スポーツ振興計画の策定

指 標	現状値	目標値
いなぎICカレッジ年間受講者数	1,131人	1,300人
公民館年間利用人数	253,944人	280,000人
年間個人貸出冊数	1,338千冊	1,500千冊
スポーツ実施率	35.5%	50.0%

※スポーツ実施率とは週1回以上スポーツを実施している人の割合で、市民意識調査の結果に基づく。



1 地域で育む共生意識と 活気あふれる地域交流

市民一人ひとりの人権を尊重しつつ、地域社会を構成する一員として相互に認めあい、声をかけあって助けあえる共生意識の醸成に努めることにより、友愛に満ちた社会の実現をめざします。

- ①人権の尊重
- ②平和で友愛に満ちた社会の推進
- ③男女共同参画社会の推進

〔主な事務事業〕

- 人権問題啓発事業
- 平和意識啓発事業
- 第四次男女共同参画計画の策定
(第四次男女平等推進いなぎプラン)
- 配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援に関する基本計画の策定



2 コミュニティの充実と 交流の推進

地域課題への取組みに地域社会を構成する多くの市民がさまざまな手段で主体的に参加することを通して、地域への愛着や連帯意識を醸成することにより、コミュニティの充実を図ります。また、姉妹都市や国際交流など市域を越えた交流活動を推進します。

- ①コミュニティの育成支援
- ②市域を越えた交流の推進

〔主な事務事業〕

- 自治会集会施設建設費補助
- 自治会新規設立支援
- 地域コミュニティ活性化事業
- 外国人が地域行事等へ参加しやすい環境の整備

3 安全安心なまちづくり

市民の生命・身体・財産を守るため、緊急時において迅速に対応ができる消防・救急体制の整備と防犯活動を強化し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。また、地域活動を推進するボランティア団体の育成を図り、消防団・防犯協会・災害防止協会・女性防火クラブなどの関係団体の中軸に、自治会や自主防災組織などの地域組織や学校、各種施設、事業所などとも緊密な連携に努めます。

- ①防災対策の推進
- ②地域ぐるみの防犯活動
- ③消防体制の充実
- ④救急体制の充実

〔主な事務事業〕

- 稲城市地域防災計画の改定
- 防災行政無線デジタル化及び防火水槽整備事業
- 耐震改修補助事業
- 防災訓練
- 市内一斉防犯パトロール
- 消防団第二分団拠点施設整備事業
- 消防ポンプ自動車等整備事業
- 消防緊急指令施設及び消防無線デジタル整備事業
- 第三次稲城市消防基本計画の策定
- 救急業務高度化資機材整備事業

指 標	現状値	目標値
審議会等の女性の参画率	24.0%	40.0%
自主防災組織の結成数	44団体	50団体
木造住宅耐震化率	74%	90%
防犯活動ボランティア団体	86団体	100団体
犯罪発生件数	727件	700件
消防団員の定員確保 (災害支援団員含む)	182人	207人
応急手当普及員	30人	100人
応急手当奨励制度による 対象事業所	3件	10件

1 快適な環境への改善と保全の推進

生産活動でも消費生活でも省エネルギー・省資源を進め、地域から持続可能な社会の構築をめざします。また、環境の悪化を防止し、豊かな自然環境を将来の世代へ継承していくため、良好な環境の保全に努めます。

- ①環境負荷低減の推進
- ②循環型社会づくり
- ③快適な生活環境の確保と清潔なまちづくり

〔主な事務事業〕

- 第二次稲城市環境基本計画の策定
- 環境保全等推進事業
- ごみ減量再資源化推進事業
- 第二次稲城市一般廃棄物処理基本計画の策定
- 稲城市緑の基本計画の改定



2 産業の振興

経営意欲の高い企業の担い手の育成を支援することや市民に対して市内産業に対する理解を深めることなどを通じて、本市の産業活性化を促進します。

- ①都市農業の振興
- ②地域社会との共生をめざす製造業・情報通信業などの工業の育成
- ③市民生活を豊かにする商業の活性化
- ④まちの賑わいの創出
- ⑤観光・スポーツ・レクリエーションを通じたまちの活性化

〔主な事務事業〕

- 認定農業者経営改善支援事業
- 防薬対策事業
- 農業体験農園開設等支援事業
- 商工会支援事業
- 稲城市商業活性化プランの推進と策定
- 新規創業等支援
(小口事業資金融資あっせん事業)
- 観光推進事業



3 安定した消費生活の推進

消費生活に関する情報の提供や意識啓発、消費に関する学習機会の充実を図り、消費者の自立性を高めるとともに、消費生活の向上を図ります。また、環境に配慮した消費生活への働きかけを進めます。

- ①市民の消費生活に関する意識啓発
- ②市民の消費生活環境に対する意識啓発の推進

〔主な事務事業〕

- 消費者ルーム運営事業
- くらしフェスタ事業

指標	現状値	目標値
家庭部門の一世帯あたり 二酸化炭素排出量	2.98t (2007年)	2.1t
可燃・不燃ごみ量 (1人1日あたり)	495g	480g
資源集団回収量 (1人1日あたり)	66.9g	68.9g
環境美化対策満足度	38.5%	40.0% 以上
環境美化市民運動参加人数	8,515人	9,200人 以上
農地面積	154ha	138ha
農家戸数	280戸	261戸
消費者ルーム利用者数	955人	1,100人
くらしフェスタ参加来場者数	延3,500人	延4,000人

1 安心して暮らせるまちづくり

地域の特徴や豊かな水と緑の資源を活かし計画的な土地利用と土地区画整理事業による市街地の一体的な整備を行います。また、JR南武線の連続立体交差事業の進捗や道路・河川の整備充実を図り、だれもが安心して暮らせる良好な住みよい環境づくりを推進します。

- ①計画的な土地利用の推進
- ②市街地の整備
- ③充実した道路網の整備
- ④河川・水路の整備

〔主な事務事業〕

- 稲城市都市計画マスタープランの改定
- 用途地域等の変更
- 地区計画区域の指定
- 複戸土地区画整理事業
- 矢野口駅周辺土地区画整理事業
- 稲城長沼駅周辺土地区画整理事業
- 南多摩駅周辺土地区画整理事業
- 南山東部土地区画整理事業
- 上平尾土地区画整理事業
- (仮称)小田良土地区画整理事業
- 主要幹線道路の整備事業
- 生活道路の整備事業
- 道路・橋梁の維持管理事業
- 多摩川スーパー堤防事業
- 水路整備事業

2 安全で快適なまちづくり

市民生活の利便性を高めるために、公共交通機関の充実を図り、交通環境や生活環境、また住宅環境の向上を図ることにより、だれもが安全安心で快適に暮らすことができる、住みよいまちづくりを推進します。

- ①鉄道・バス交通の充実
- ②交通安全の推進
- ③下水道の整備
- ④住宅環境の向上

(右上段へ)

(左下段より)

〔主な事務事業〕

- JR南武線連続立体交差事業
- iバスの運行事業
- 稲城市交通安全計画の策定
- 道路照明整備事業
- 有料自転車等駐車場整備事業
- 汚水排水整備事業
- 下水道維持管理計画の策定
- 下水道施設耐震化計画の策定
- 雨水排水整備計画の策定及び雨水排水整備事業
- 稲城市住宅マスタープランの改定
- 町界町名地番整理事業

3 豊かな水と緑のあるまちづくり

豊かな水と緑を活かし自然景観を維持するため、貴重な動植物・緑を保全するとともに市街地の緑化を推進し、四季を感じることでできるまちづくりを進めます。また、これらの周辺環境と調和し、都市景観に配慮した美しい魅力のあるまちなみ形成を進めます。さらに、これらの資源を有効活用するための水と緑のネットワークの形成を図ります。

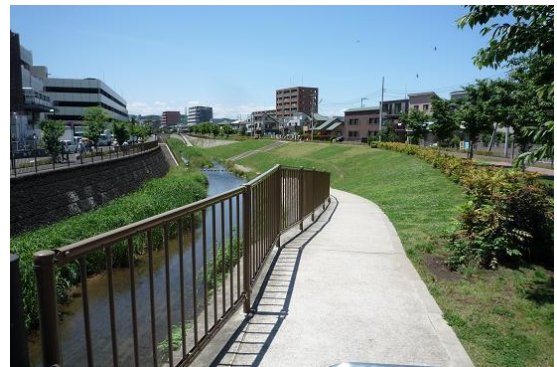
- ①緑を守り育てる
- ②楽しく魅力ある公園づくり
- ③水と緑のネットワークづくり
- ④まちなみ景観の形成

〔主な事務事業〕

- 稲城市緑の基本計画の改定
- 自然環境保全地域の指定・拡充
- 公園整備事業
- 水と緑の歩行者空間ネットワークの策定
- 散策路の整備事業
- 都市計画道路の無電柱化
- 公共サイン計画の策定

指 標	現状値	目標値
地区計画区域の割合	31.8%	42.0%
榎戸土地区画整理事業	75.1%	100.0%
矢野口駅周辺 土地区画整理事業	44.9%	79.2%
稲城長沼駅周辺 土地区画整理事業	29.2%	68.9%
南多摩駅周辺 土地区画整理事業	38.2%	93.4%
南山東部土地区画整理事業	0.0%	100.0%
上平尾土地区画整理事業	0.0%	100.0%
(仮称)小田良 土地区画整理事業	0.0%	100.0%
都市計画道路整備率	63.3%	90.0%
市道改良率	58.0%	60.0%
歩道の透水性舗装整備率	67.8%	75.0%
水路の整備	64.9%	70.0%
iバスの年間利用者数	35万人	40万人
有料自転車等駐車場 収容台数	2,800台	4,800台

指 標	現状値	目標値
下水道普及率(汚水)	96.8%	100.0%
稲城市自然環境保全地域の 指定	8.0ha	16.1ha
市民一人あたりの公園緑地 面積	11.3㎡/人	12.2㎡/人
親水公園等整備状況	16.0%	21.5%
無電柱化道路延長	6.6km	12.6km



6

〔市民参加・行財政運営〕

1 市民参加の拡充

複雑化・多様化する市民ニーズに対応するため、計画や施策の策定過程において市民の声を聴き、施策に反映できる仕組みづくりなど、幅広い市民参加を進めます。市民と目的を共有する事業を市民と行政が協働して進めるために、情報を共有し、意思疎通を図りながら課題を共有することで、市民参加をさらに充実します。

- ①市民協働の推進
- ②行政情報の透明化



指 標	現状値	目標値
市税徴収率(現年分)	98.5%	99.0%

2 行政サービス向上のための行財政

今後の財政見通しが厳しいなかで、地方分権のもとに自立した自治体運営を行っていくため、中・長期的な展望に基づいた計画的な行財政運営を推進します。行政の効率化を図りつつ、行政資源活用の方向性や分権型社会における市民の負担と選択に基づくサービスの提供という視点を考慮したなかで、行政サービスの向上に努めます。

- ①健全な行財政運営
- ②自治体間の連携推進
- ③適正な人事管理
- ④情報通信技術の活用

〔主な事務事業〕

- 市庁舎空調機器改修
- (仮称)稲城市教育審議会
- 霊園・メモリアルホール整備事業
- 住民情報システム等の再構築

市民とともに歩むまちづくり



この冊子は、第四次稲城市長期総合計画の概要をお知らせするために作成したものです。

ご家族やご近所におきまして、「将来の稲城のまちづくり」について、話題にしていただければ幸いです。

概要版

第四次稲城市長期総合計画

発行日 平成 23 年 3 月
 発行 稲城市
 〒206-8601 稲城市東長沼 2111
 電話 042-378-2111(代表)

編集 稲城市企画部
 ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp>

※この計画書は再生紙を使っています。